

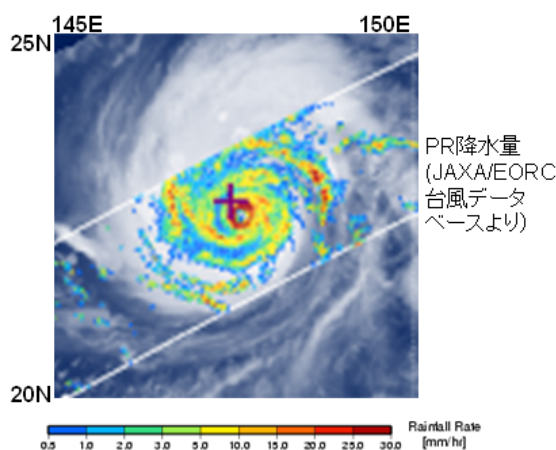
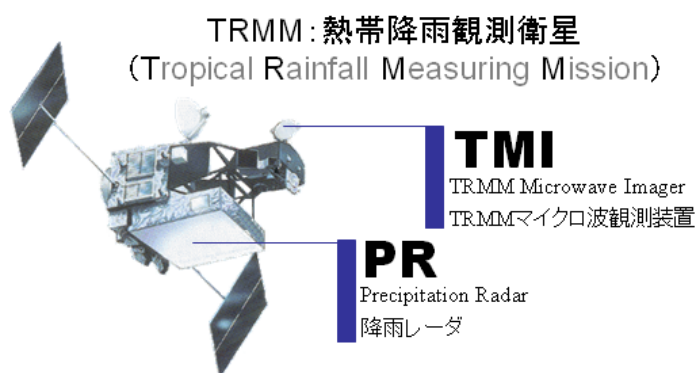
雨の科学

担当 重 尚一

- 雨は、常日頃見慣れた現象であると同時に、水惑星・地球の気候システムを考える上で欠かせない現象である。近年、リモートセンサやコンピューターの発達によって、雨をマイクロスケールから地球規模まで様々なスケールで調べることが可能になった。
- 本課題では、雨を対象に、地上観測・衛星観測・数値シミュレーションという3つの研究手法の初歩的演習を行い、それぞれ長所・短所を体感する。
- 理学部一号館屋上に設置した地上雨量計で観測した事例を対象に、熱帯降雨観測衛星(下図)あるいは2014年2月に打ち上げられたばかりの全球降雨観測主衛星の観測データを解析し、さらに最新の雲解像モデルを利用した数値シミュレーションを行う予定である。

連絡先: 理学部 1号館 364 室 Tel: 753-4271 E-mail: shige@kugi.kyoto-u.ac.jp

参考: <http://www-clim.kugi.kyoto-u.ac.jp/>



Tropical Pacific Typhoon Jelawat (2 Aug 2000)

